

台東区 ヤングケアラーに関する実態調査 結果概要

2023年12月

台東区ヤングケアラー実態調査の目的と調査方法等について

1. 目的

ヤングケアラーとは、本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供のことを指し、勉強や遊びに対する時間が取れず、本来守られるべき子供の権利が侵害されている可能性がある。

そのため、小学生から高校生までの児童・生徒を対象に実態調査を行い、ヤングケアラーの実態を把握することで、きめ細やかな支援につなげていくとともに、当調査を通じて、ヤングケアラーに関する啓発を行い、気づきを促すことを目的とする。

2. 調査方法等

(1) 調査対象学年及び人数

	学校種別	学年	対象校数	対象人数
小学生	区立小学校	4年生、5年生、 6年生	19校	3,588人
	区立外小学校		—	271人
	小計			3,859人
中学生	区立中学校	全学年	7校	2,186人
	区立外中学校		—	1,252人
	小計			3,438人
高校生相当 年齢	—	全学年	—	3,325人
合計				10,622人

台東区ヤングケアラー実態調査の目的と調査方法等について

(2) 調査方法

区立の小学校、中学校に在籍する児童・生徒においては、基本は各学校を通じて保護者と生徒に調査依頼文を配布し、依頼文のURL、二次元コードからインターネットに接続し、回答して頂いた。

また、筆記での回答を希望する生徒においては、紙媒体による調査票を配布し、回答して頂いた。

区立外の小学校、中学校に在籍する児童・生徒、高校生相当年齢の方においては、郵送にて対象者に調査依頼文を配布し、依頼文のURL、二次元コードからインターネットに接続し、回答して頂いた。

(3) 調査期間

令和5年9月1日～令和5年10月20日

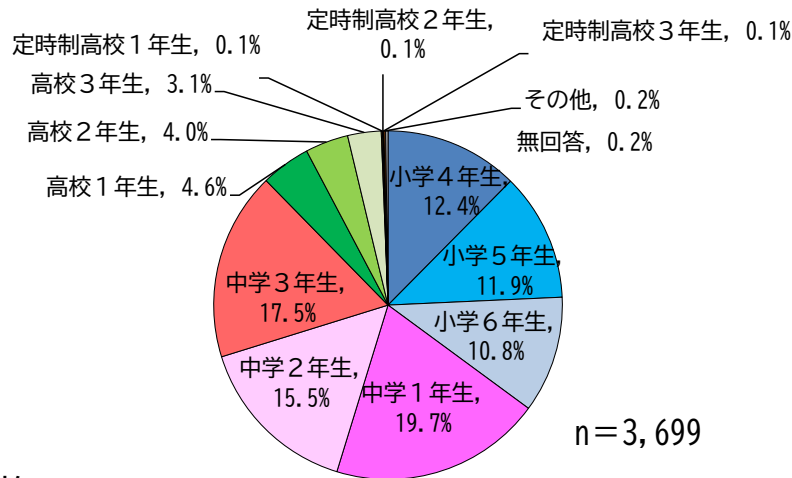
(4) 回答率

	対象人数	回答数	回答率
小学生	3,859人	1,298人	33.6%
中学生	3,438人	1,945人	56.6%
高校生相当 年齢	3,325人	456人	13.7%
合計	10,622人	3,699人	34.8%

調査結果～属性～

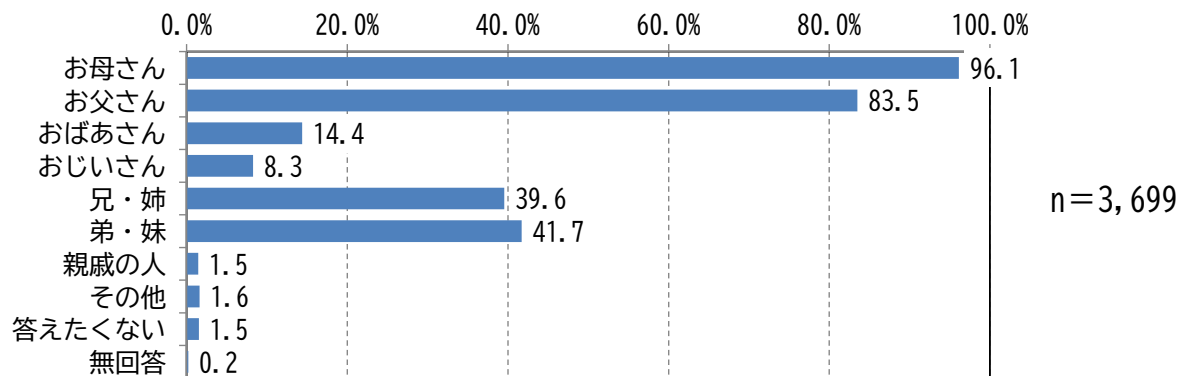
(1) 学年

- ◆ 小学生では小学4年生が12.4%（459人）と最も多かった。
- ◆ 中学生・高校生相当年齢では中学1年生が19.7%（727人）と最も多く、年齢が上がるにつれて割合が低くなる結果となった。



(2) 一緒に住んでいる家族

- ◆ 全体では、「お母さん」が最も多く96.1%（3,556人）であり、続いて、「お父さん」が83.5%（3,088人）であった。

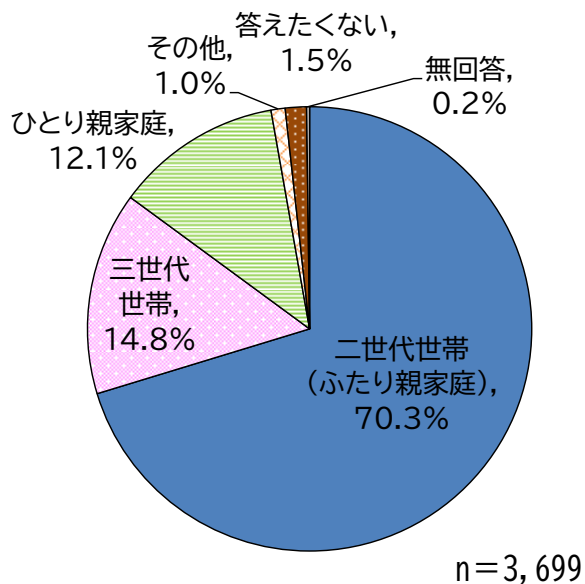


調査結果～属性～

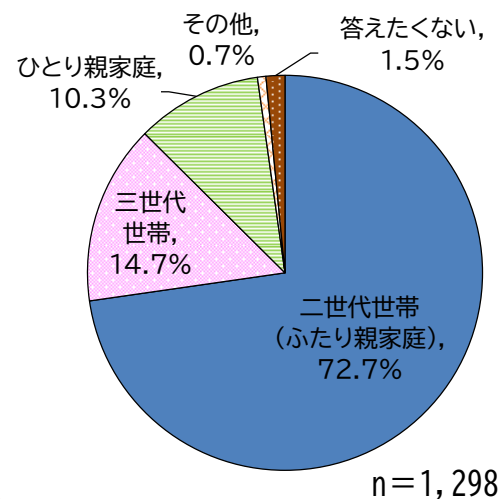
(3) 世帯

- ◆ 小学生では二世帯世帯が72.7% (944人) であり、ひとり親家庭は10.3% (134人) であった。
- ◆ 中学生・高校生相当年齢では二世帯世帯が69.0% (1,656人) であり、ひとり親家庭は13.1% (315人) であった。

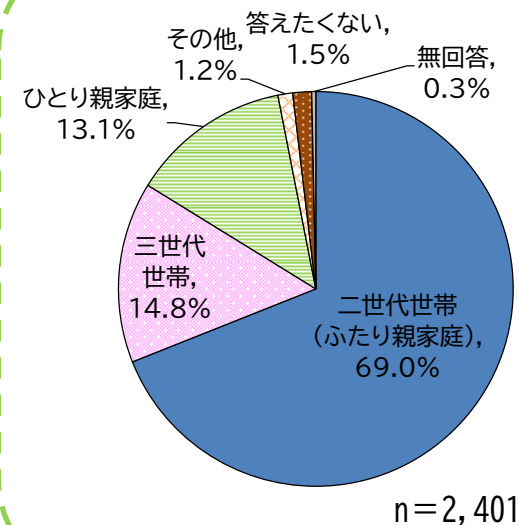
【全体】



【小学生】



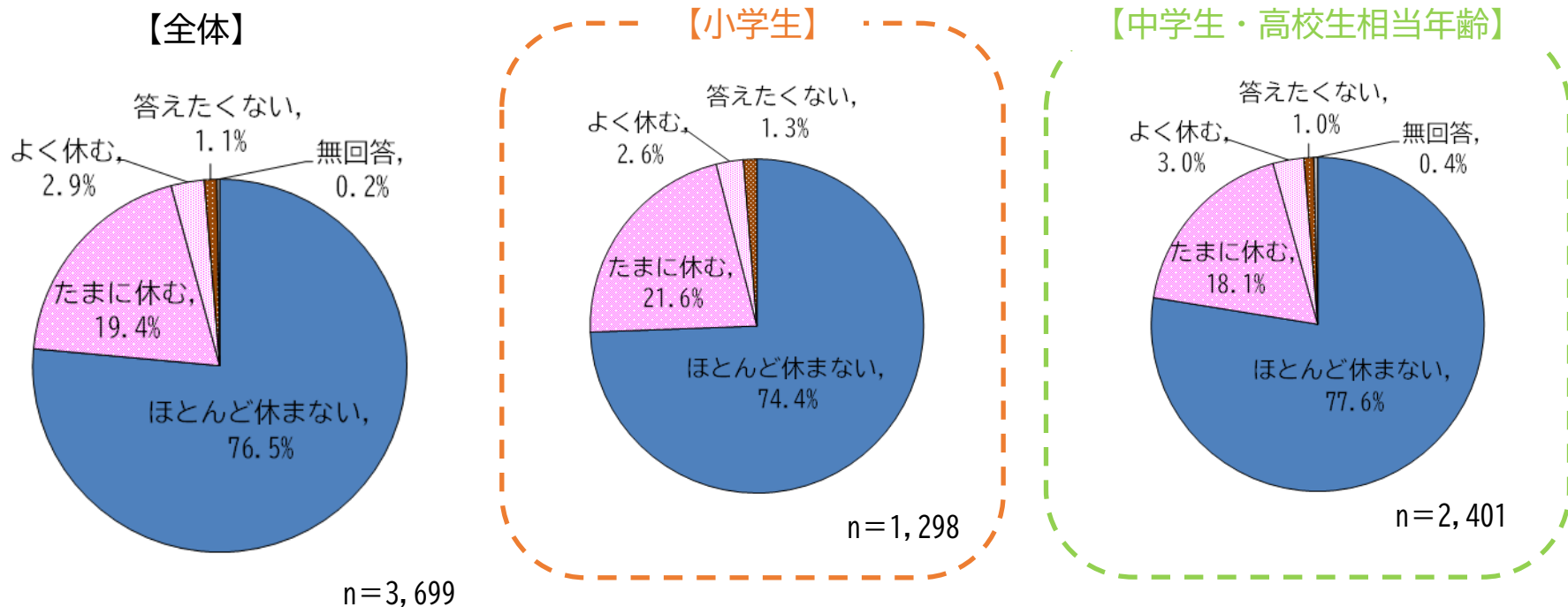
【中学生・高校生相当年齢】



調査結果～出席状況～

(4) 出席状況

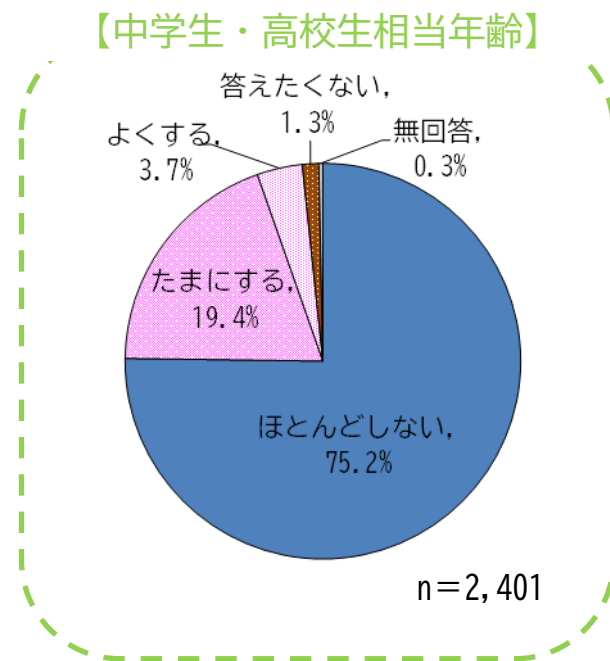
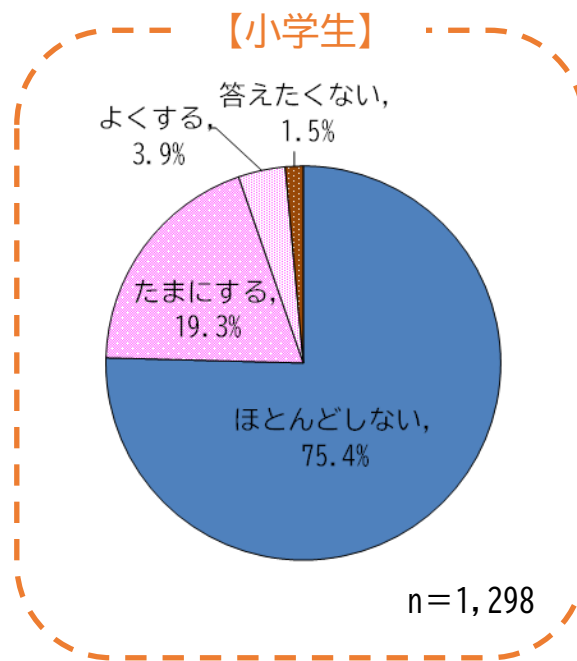
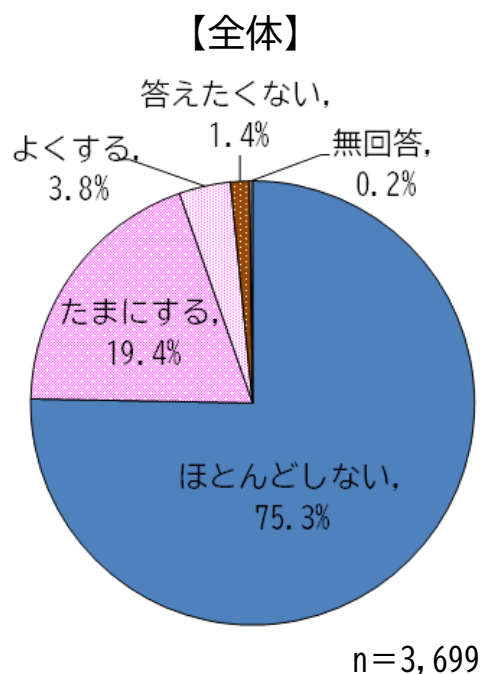
- ◆ 小学生では74.4% (966人)、中学生・高校生相当年齢では77.6%(1,862人)の割合で「ほとんど休まない」と答えた回答が最も多い結果となった。



調査結果～遅刻、早退の状況～

(5) 遅刻、早退の状況

- ◆ 小学生では75.4% (979人)、中学生・高校生相当年齢では75.2%(1,806人)の割合で「ほとんどしない」と答えた回答が最も多い結果となった。



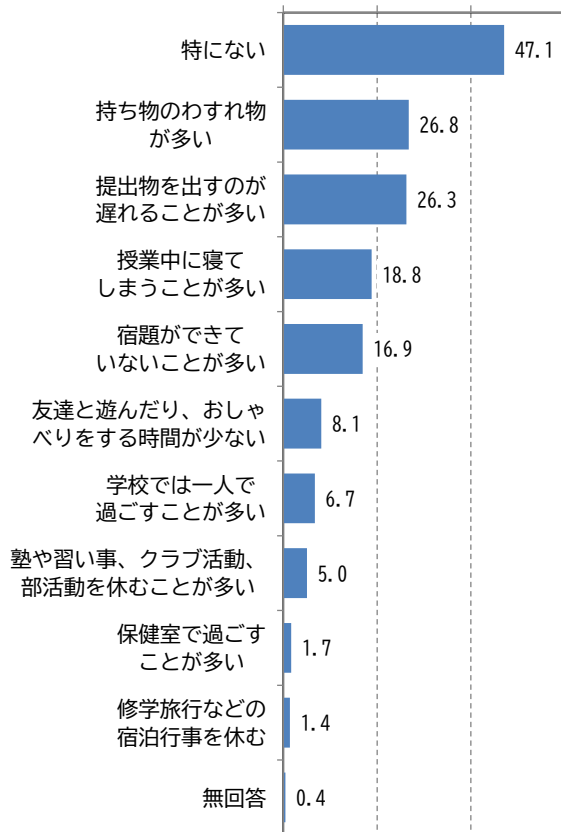
調査結果～普段の学校生活への影響～

(6) 普段の学校生活への影響

◆ 小学生では50.5% (655人)、中学生・高校生相当年齢では45.3%(1,088人)の割合で「特にない」と答えた回答が最も多い結果となった。続いて、小学生では28.3% (367人)が「持ち物のわすれ物が多い」、中学生・高校生相当年齢では27.3%(656人)が「提出物を出すのが遅れることが多い」が多い回答となった。

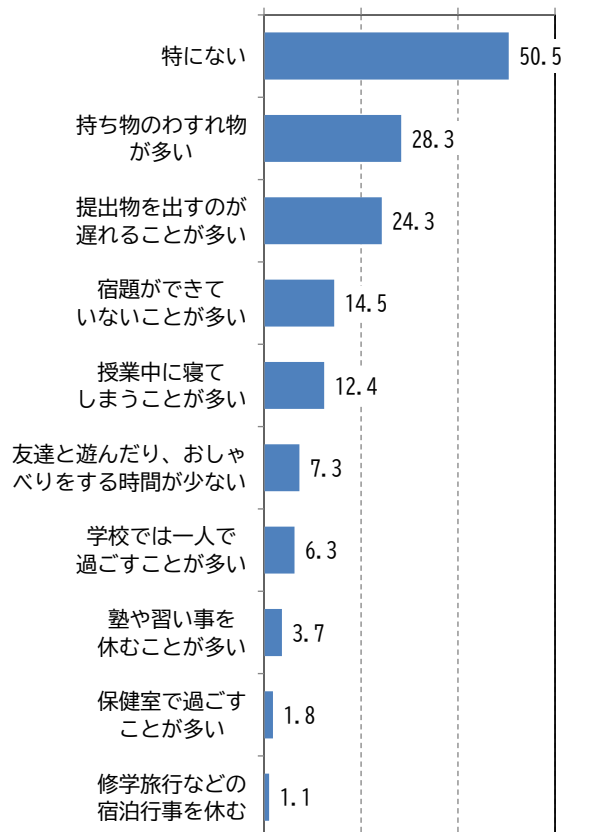
【全体】 n=3,699

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



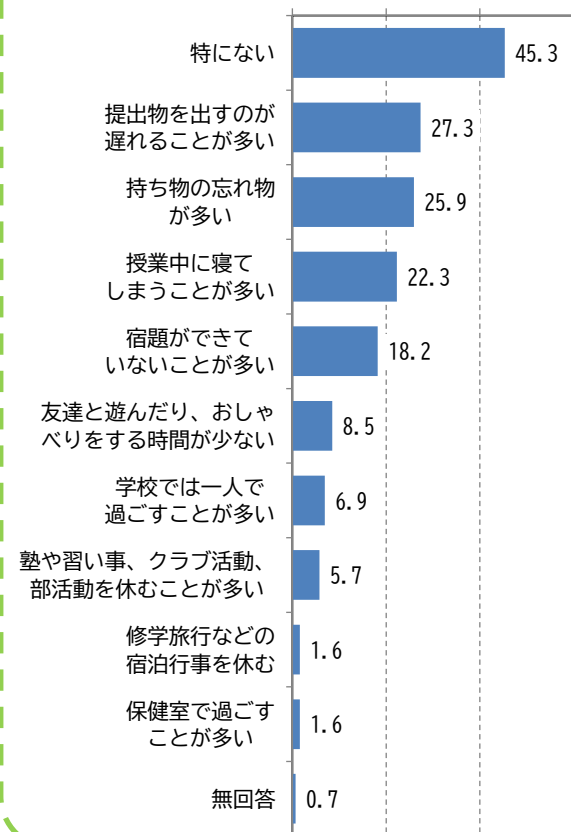
【小学生】 n=1,298

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



【中学生・高校生相当年齢】 n=2,401

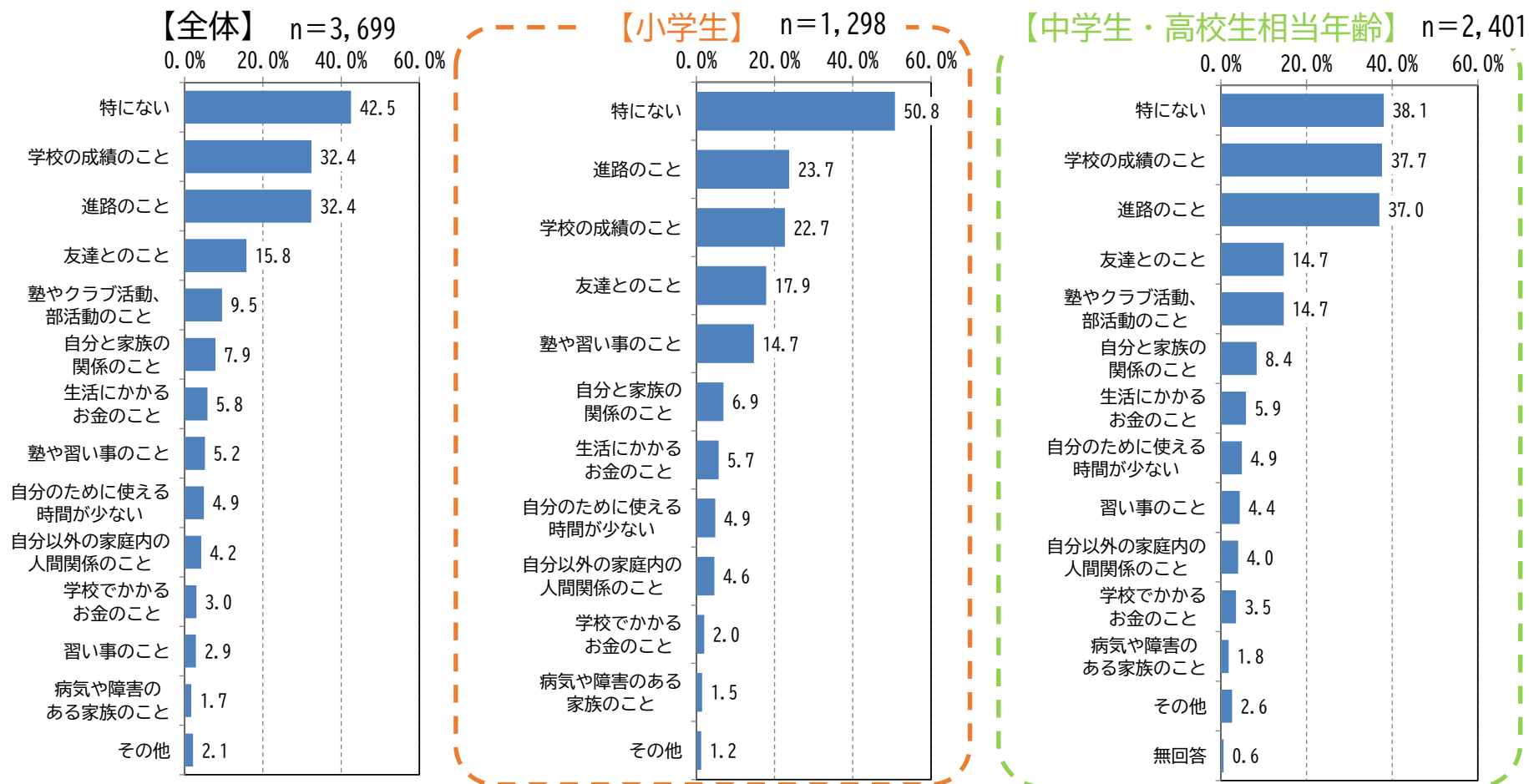
0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



調査結果～悩み、困りごと～

(7) 現在の悩み、困りごと

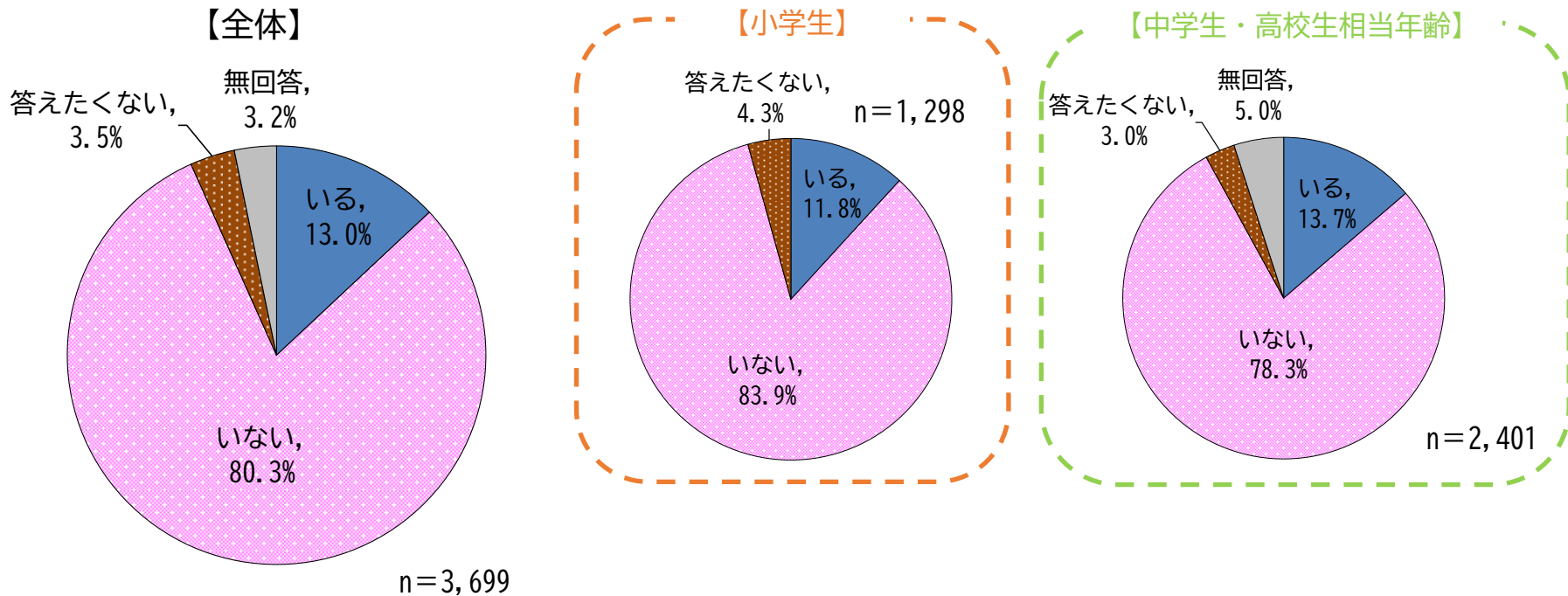
◆ 小学生では50.8% (659人)、中学生・高校生相当年齢では38.1%(914人)の割合で「特にない」と答えた回答が最も多い結果となった。続いて、小学生では23.7% (308人)が「進路のこと」、中学生・高校生相当年齢では37.7%(889人)が「学校の成績のこと」が多い回答となった。



調査結果～世話をしている家族の有無～

(8) 世話をしている家族の有無

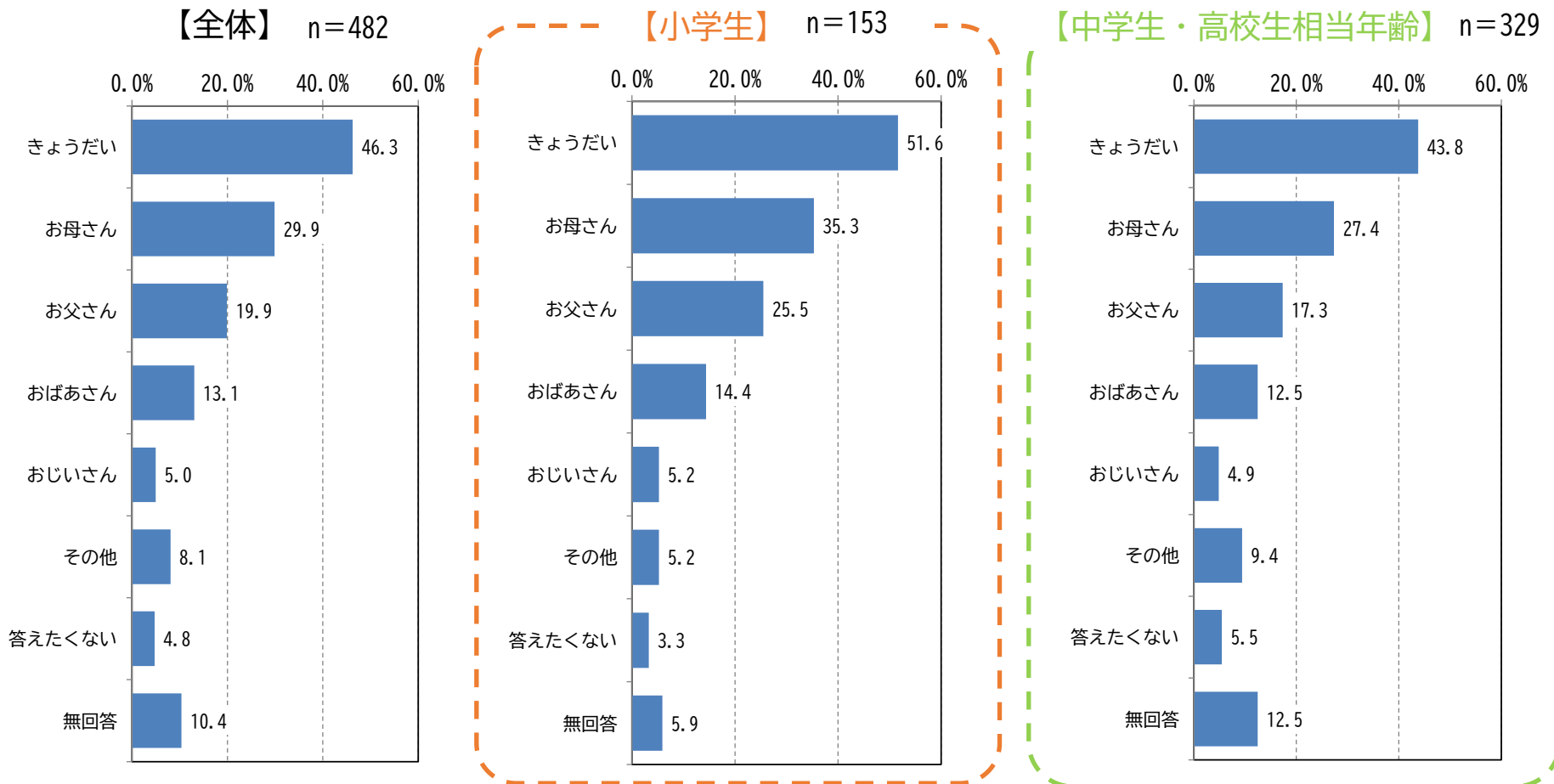
◆ 家族の世話をしている割合は全体で13.0% (482人) であった。



調査結果～世話の相手～

(9) 世話の相手

- ◆ 世話の相手としては、「きょうだい」、「お母さん」の順で多い結果となった。
- ◆ 「きょうだい」については、小学生から高校生相当年齢になるに連れて、割合が下がる傾向にある。

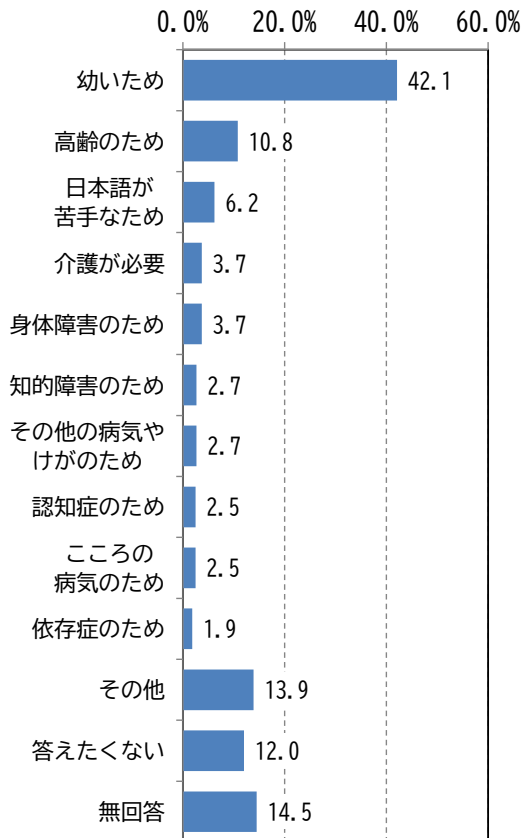


調査結果～世話の理由～

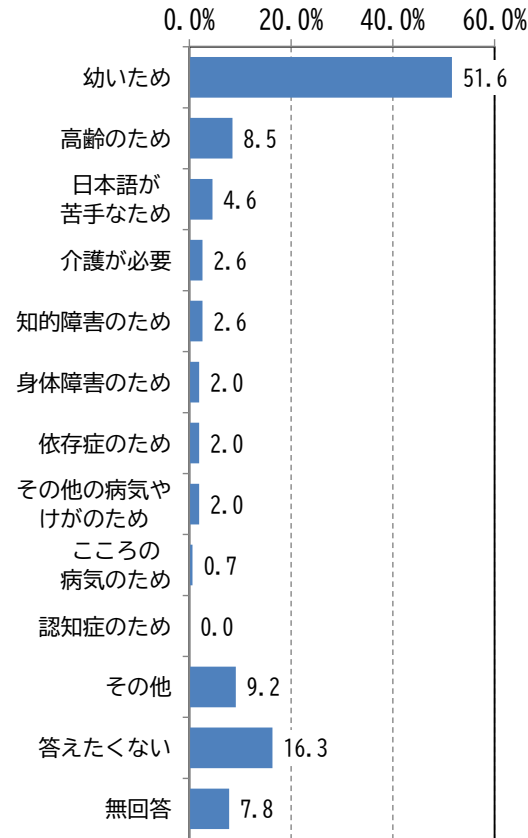
(10) 世話の理由

- ◆ 世話の理由は、小学生で51.6% (79人)、中学生・高校生相当年齢で37.7%(124人)の割合で「幼いため」と答えた回答が最も多い結果となった。
- ◆ 「その他」の理由としては、「両親が忙しいため」、「(相手が)怪我や病気のため」、「手助けや手伝いのため」といった理由が多かった。

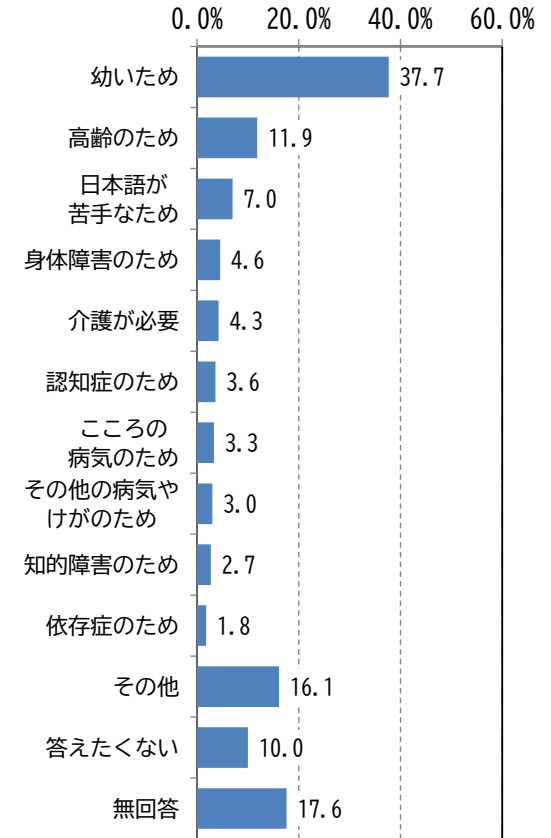
【全体】 n=482



【小学生】 n=153



【中学生・高校生相当年齢】 n=329

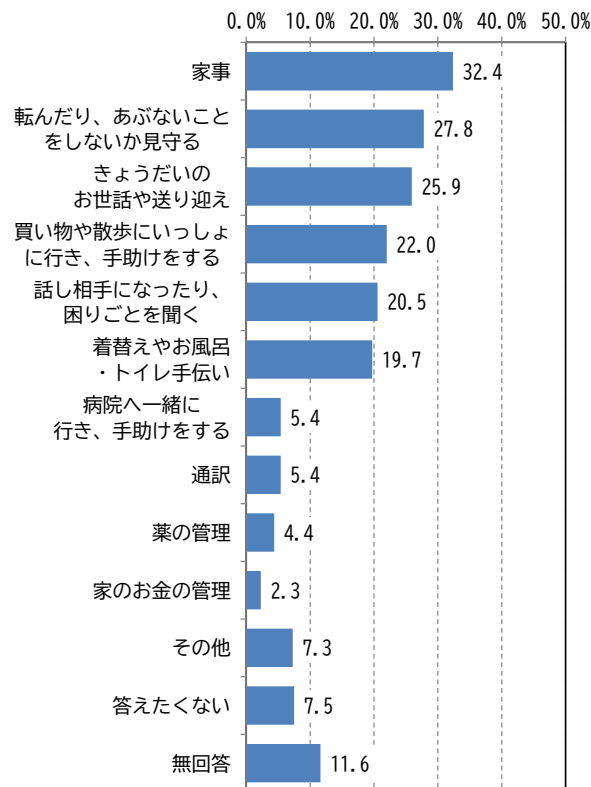


調査結果～世話の内容～

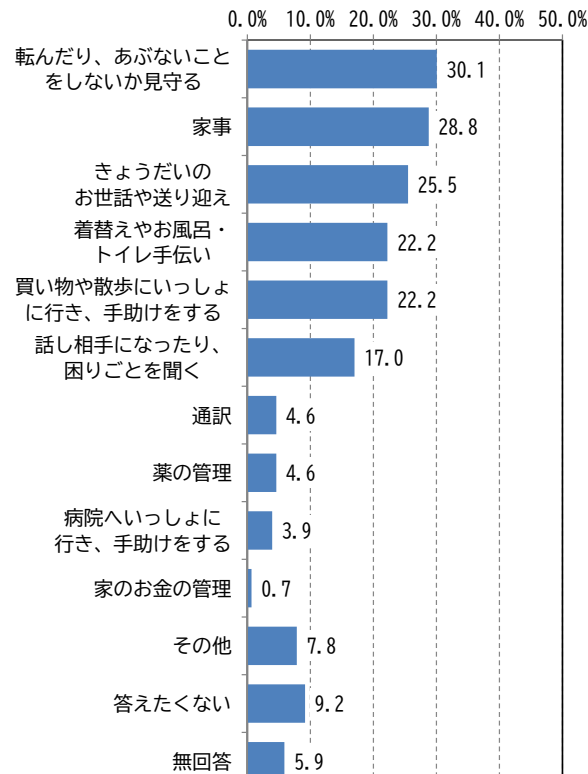
(11) 世話の内容

- ◆ 小学生では、「転んだり、あぶないことをしないか見守る」が30.1% (46人) と最も多くを占めた。続いて、「家事」、「きょうだいのお世話や送り迎え」などが多い割合となっている。
- ◆ 中学生・高校生相当年齢では、「家事」が34.0% (112人) と最も多くを占めた。続いて、「転んだり、あぶないことをしないか見守る」、「きょうだいのお世話や送り迎え」などが多い割合となっている。

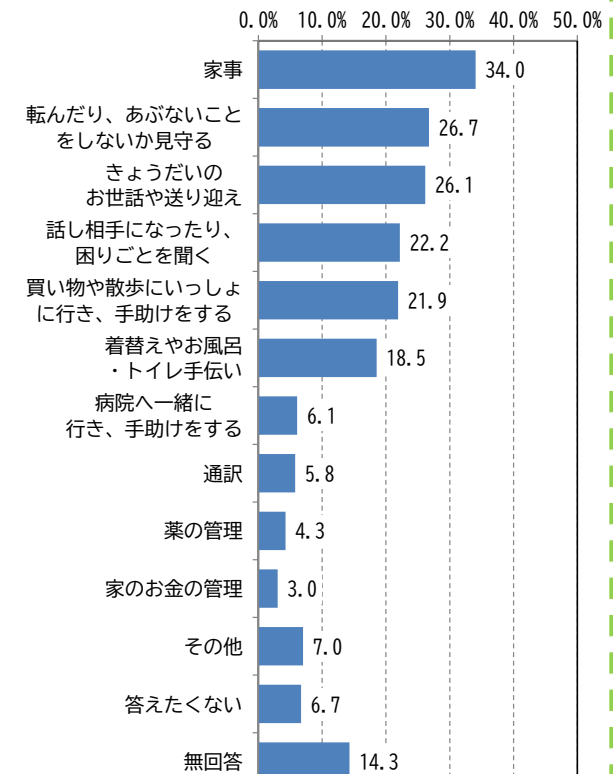
【全体】 n=482



【小学生】 n=153



【中学生・高校生相当年齢】 n=329

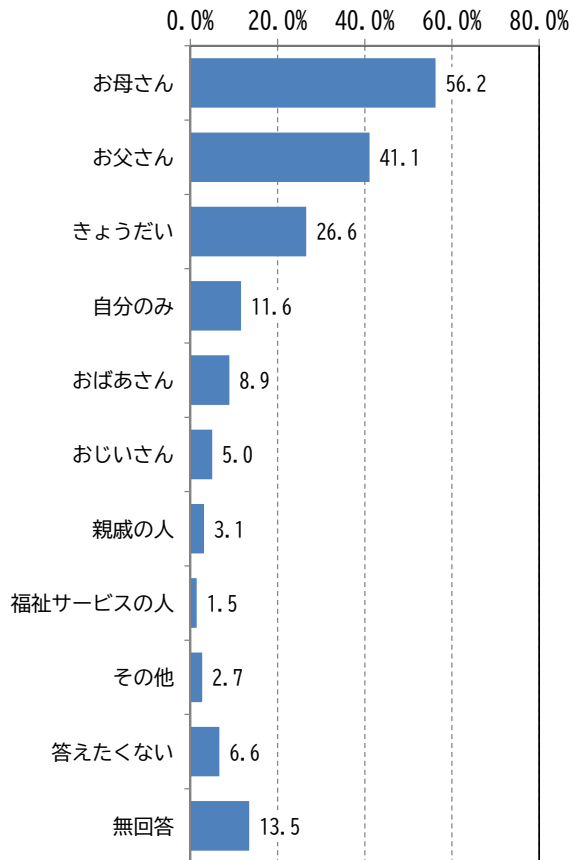


調査結果～世話を一緒に行う相手～

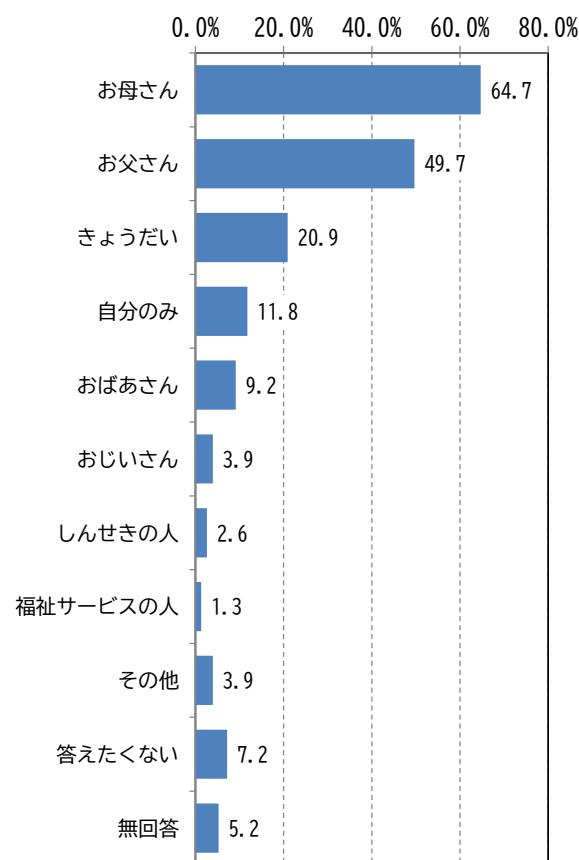
(12) 世話を一緒に行う相手

- ◆ 世話を一緒に行う相手は、小学生で64.7% (99人)、中学生・高校生相当年齢で52.3%(172人)の割合で「お母さん」と答えた回答が最も多い結果となった。続いて、「お父さん」、「きょうだい」が多い回答となっている。

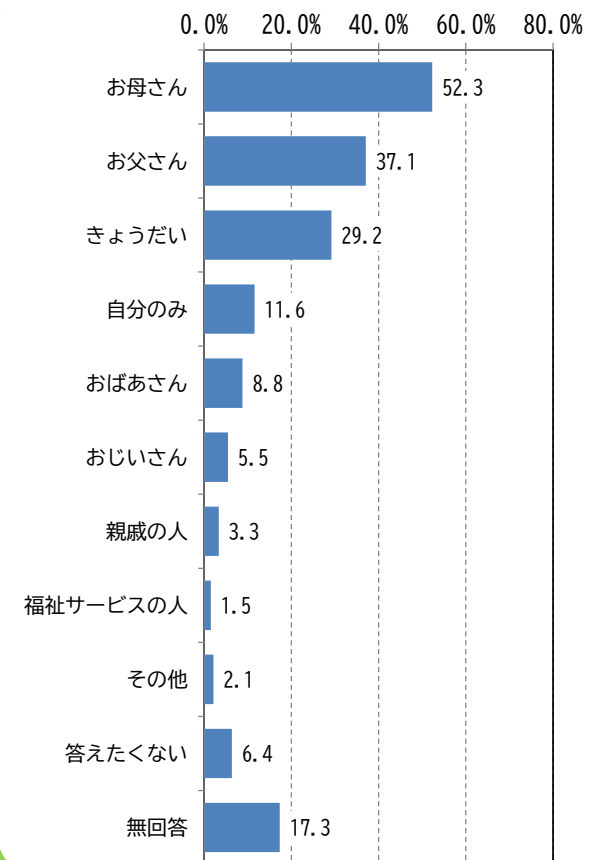
【全体】 n=482



【小学生】 n=153



【中学生・高校生相当年齢】 n=329

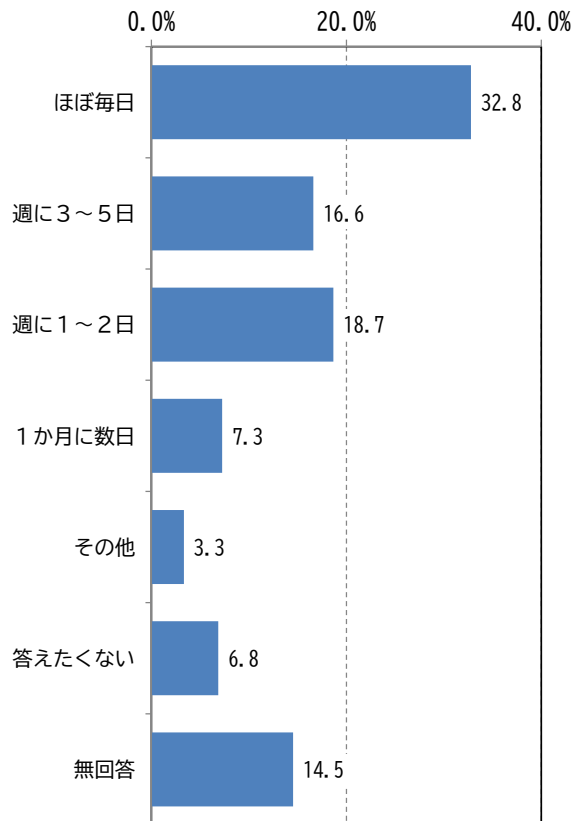


調査結果～世話の頻度～

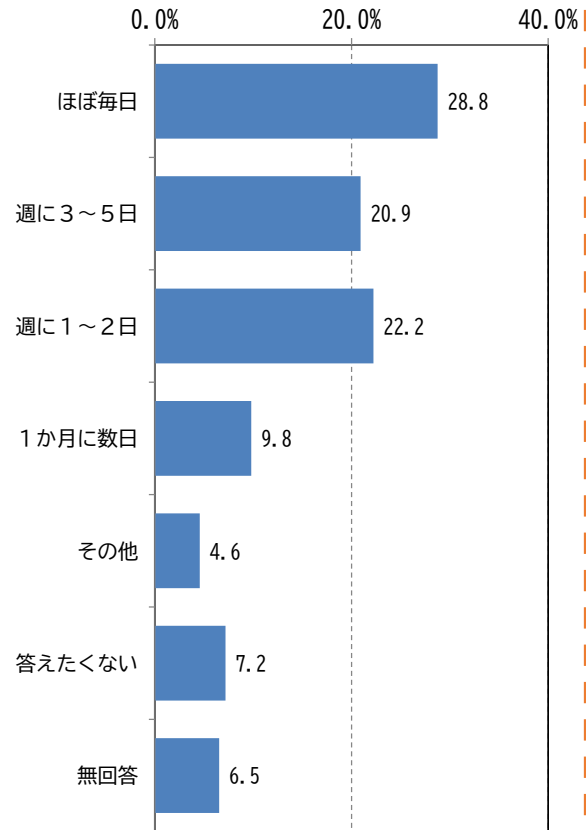
(13) 世話の頻度

◆ 世話の頻度は、小学生で28.8%（44人）、中学生・高校生相当年齢で34.7%（114人）の割合で「ほぼ毎日」と答えた回答が最も多い結果となった。

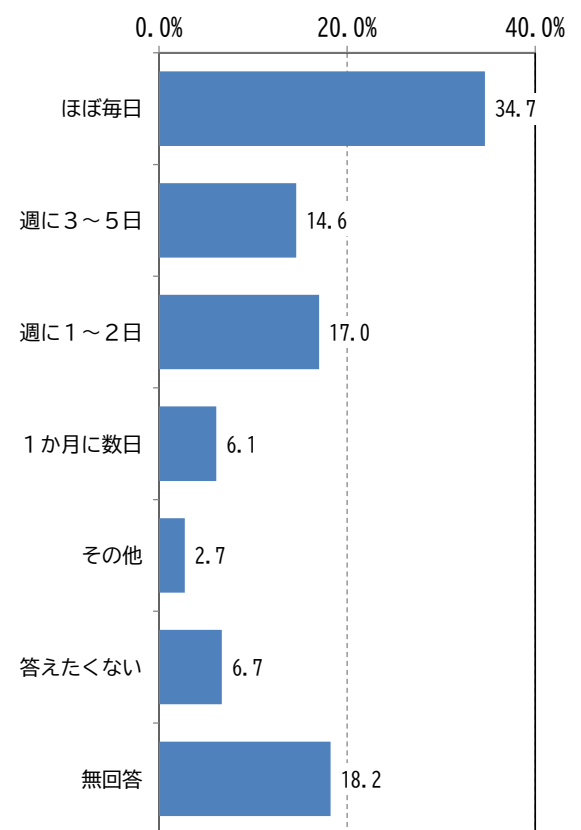
【全体】 n=482



【小学生】 n=153



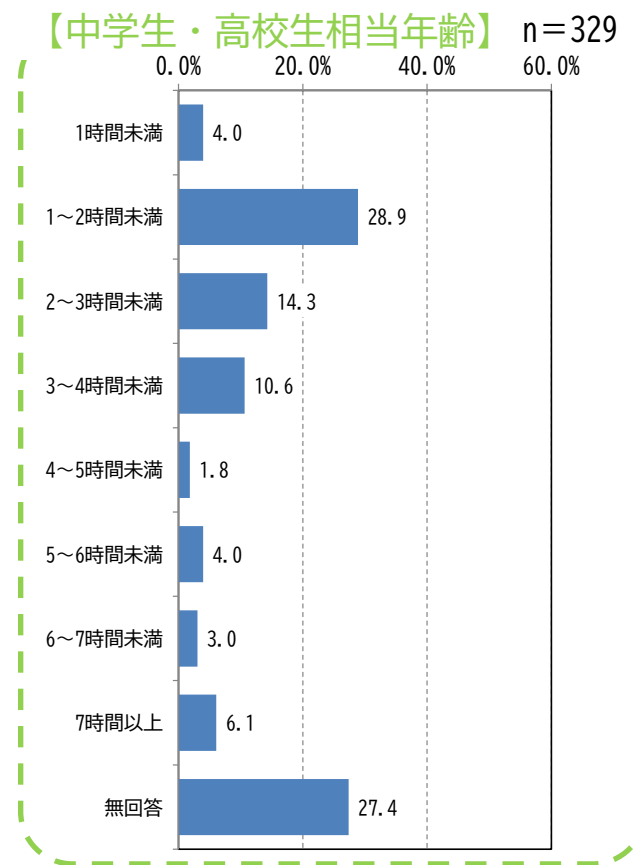
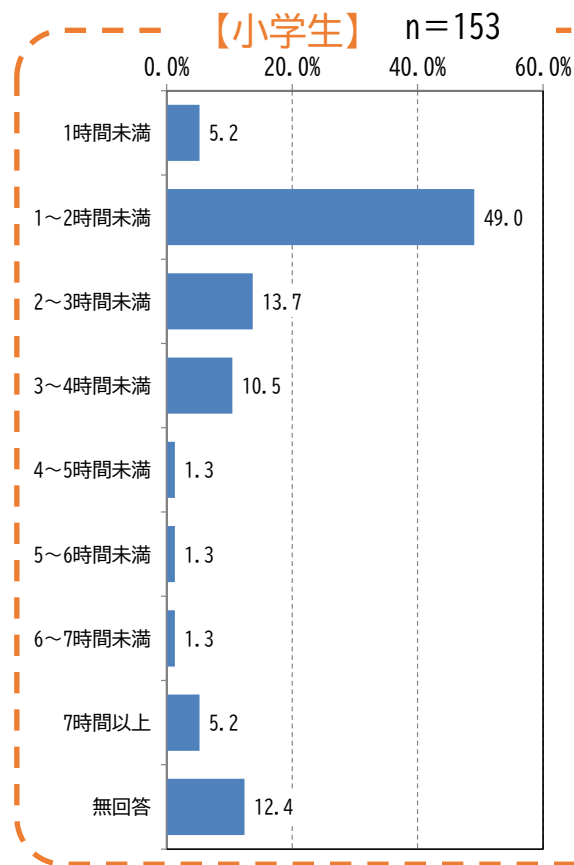
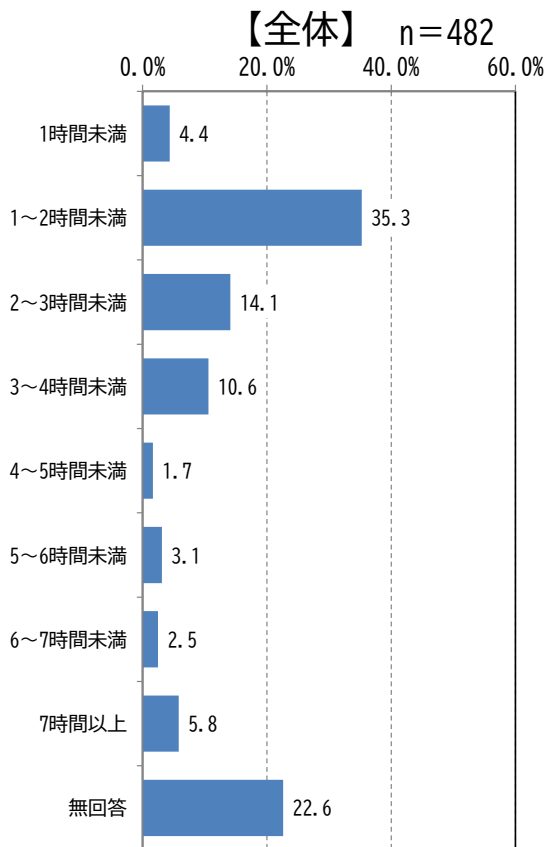
【中学生・高校生相当年齢】 n=329



調査結果～世話の時間～

(14) 世話の時間

- ◆ 世話の時間は、小学生で49.0% (75人)、中学生・高校生相当年齢で28.9%(95人)の割合で「1～2時間未満」と答えた回答が最も多い結果となった。一方で、「7時間以上」と回答した割合も小学生で5.2% (8人)、中学生・高校生相当年齢で6.1%(20人)あった。



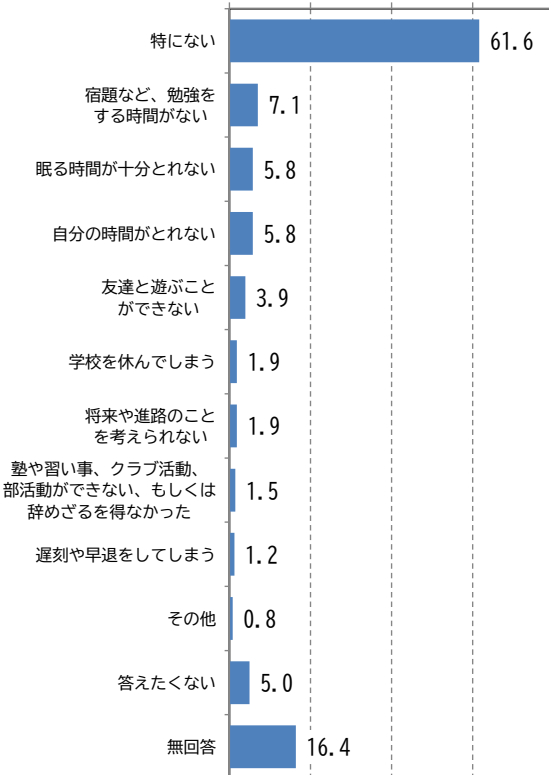
調査結果～世話による経験～

(15) 世話による経験

- ◆ 「特にない」、「無回答」を除くと、回答者の約2割（小学生12人、中学生・高校生相当年齢70人）が世話を行うことによる経験をしたことがあった。
- ◆ 小学生では、「眠る時間が足りない」が6.5%（10人）、「自分の時間がとれない」が5.2%（8人）との回答が多い結果となった。
- ◆ 中学生・高校生相当年齢では、「宿題など、勉強をする時間がない」が8.2%（27人）、「自分の時間がとれない」が6.1%（20人）との回答が多い結果となった。

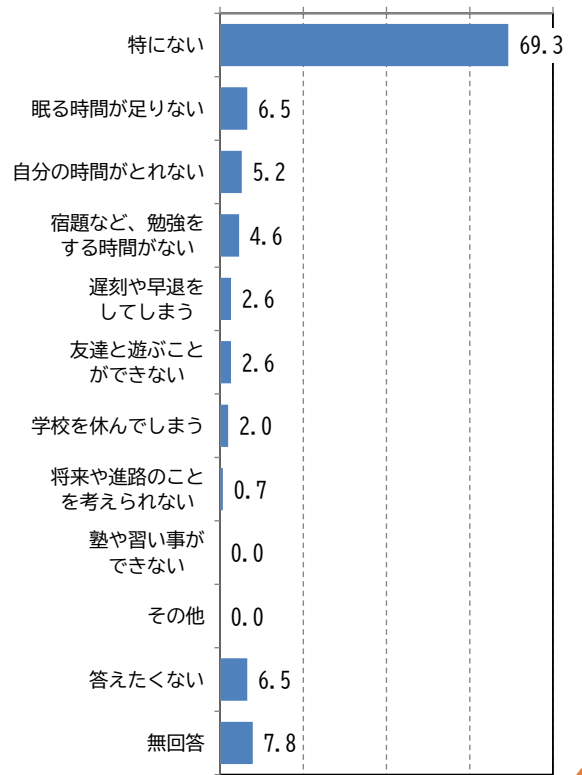
【全体】 n=482

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



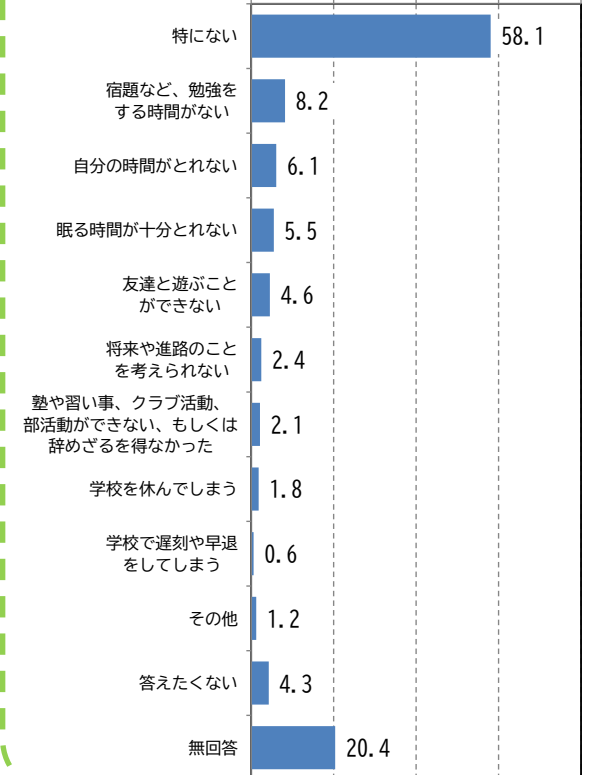
【小学生】 n=153

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



【中学生・高校生相当年齢】 n=329

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%

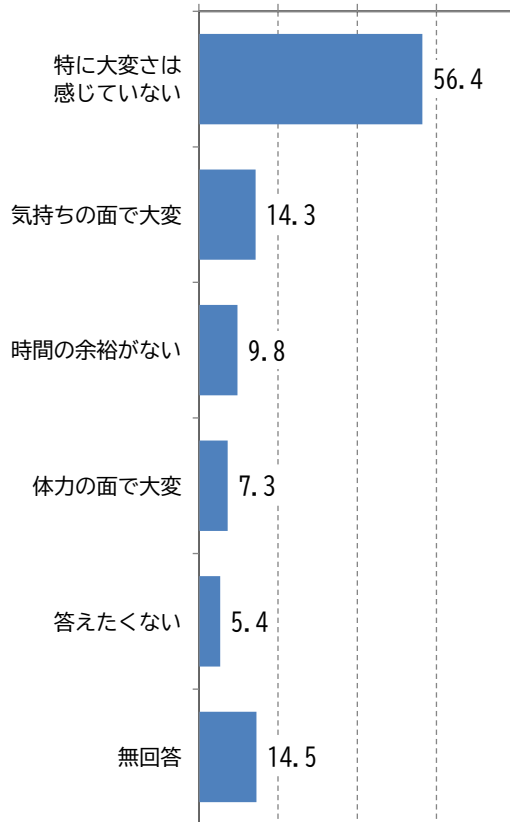


調査結果～世話による大変さ～

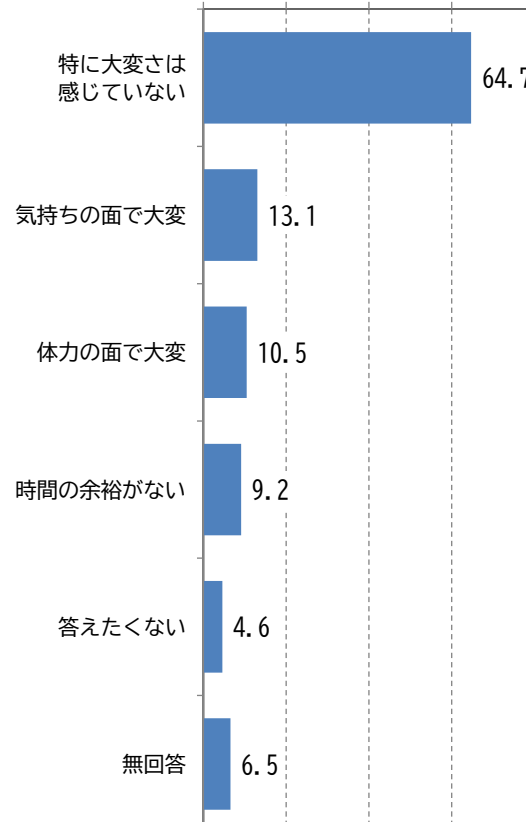
(16) 世話による大変さ

- ◆ 世話をを行うことでの大変さについては、「特に大変さは感じていない」が小学生で64.7%（99人）、中学生・高校生相当年齢で52.6%（173人）を占めた。
- ◆ 小学生では「体力の面で大変」が中学生及び高校生相当年齢に比べて多い割合となった。

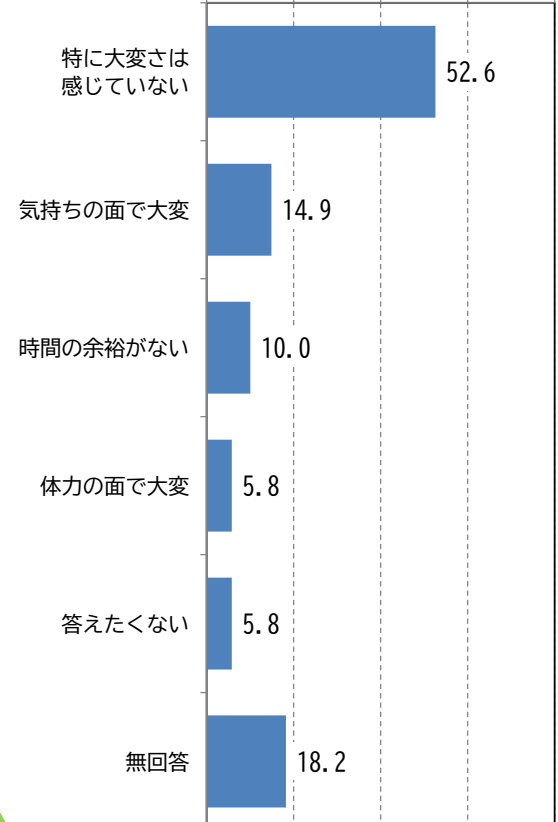
【全体】 n=482
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



【小学生】 n=153
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



【中学生・高校生相当年齢】 n=329
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



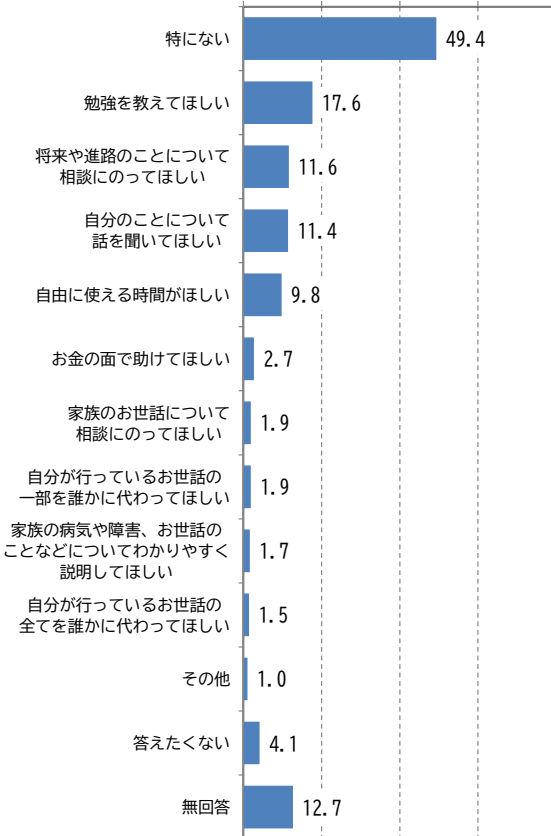
調査結果～学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援～

(17) 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

◆ 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要な支援については、「特にない」が小学生で59.5% (91人)、中学生・高校生相当年齢で44.7% (147人) で最も多い割合となった。

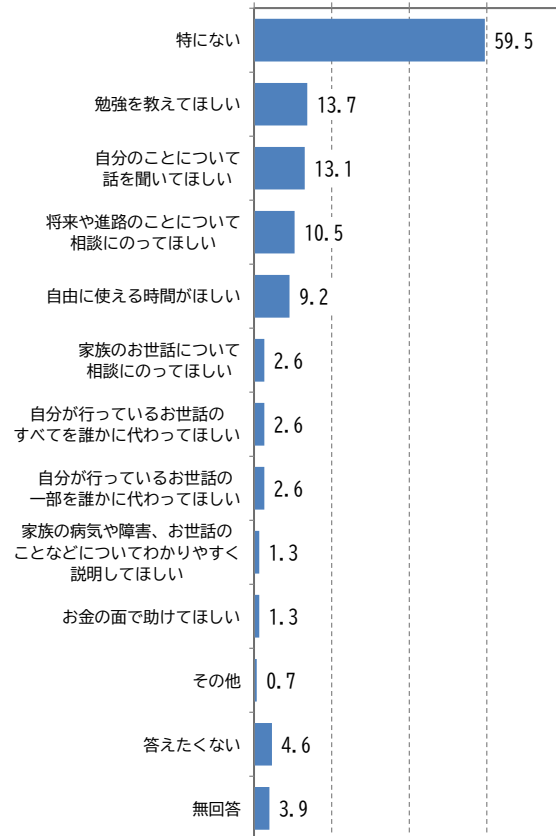
【全体】 n=482

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



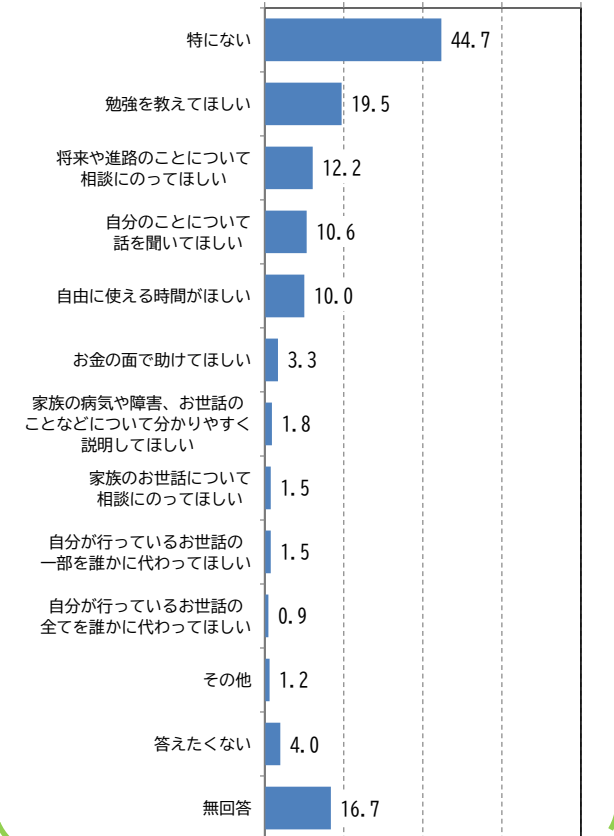
【小学生】 n=153

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



【中学生・高校生相当年齢】 n=329

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%

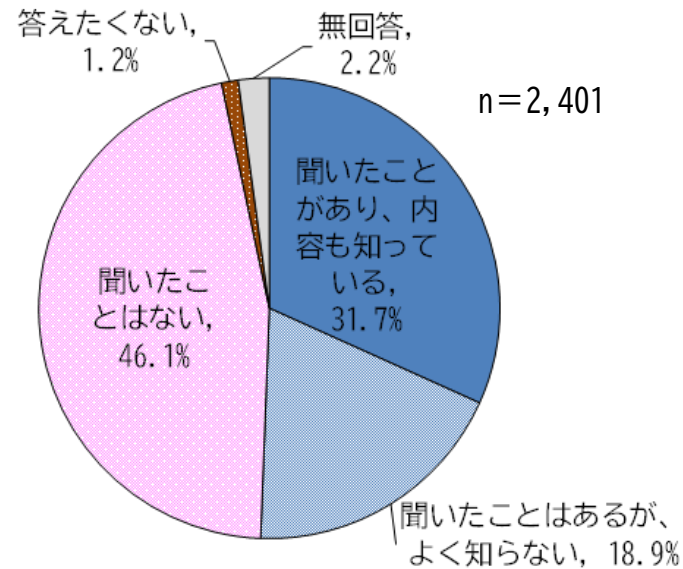


調査結果～ヤングケアラーの認知度、自覚～

(18) ヤングケアラーの認知度 (中学生、高校生相当年齢のみ)

- ◆ 「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」の合計は50.6% (1,215人) であり、半数が聞いたことがある結果となった。

【中学生・高校生相当年齢】

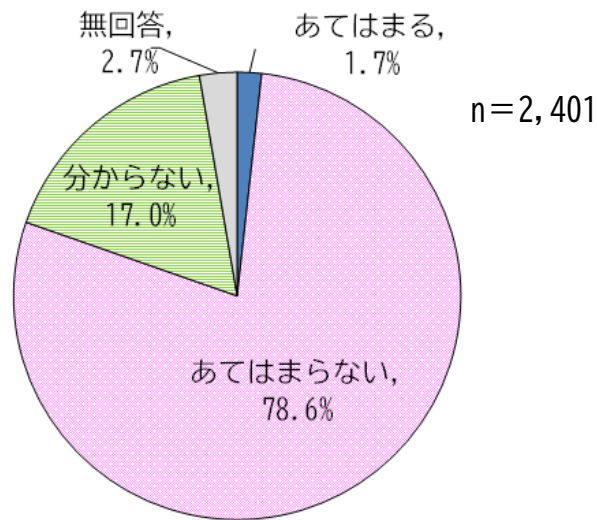


調査結果～ヤングケアラーの自覚～

(19) ヤングケアラーの自覚 (中学生、高校生相当年齢のみ)

- ◆ ヤングケアラーに「あてはまる」と回答したのは全体の1.7% (42人) であった。
- ◆ 世話をしている人のみに絞った場合、「あてはまる」と回答したのは7.3% (24人) であった。

【中学生・高校生相当年齢】



【世話をしている人のみ】

